

青年とは ～ 大きな希望を有する者 ～

2024年6月13日 東久留米市の落合川を散策した。【『川の中を泳ぐ鯉』、『川辺の鴨の親子』、『公園での老人ゴルフ』】を見て 心休まる時となった。

6月14日は病理組織診断の業務を行った。Wifeが6月15日アメリカ合衆国ワシントン州（タコマ）の娘家族を訪問するので、息子夫妻の配慮で早めの『父の日』（6月16日）の夕食会が企画された。楽しいひと時であった。ただただ感謝である。筆者も、7月にアメリカに訪問する予定である。

6月15日は、2012年にスタートした『お茶の水メデイカル・カフェ in OCC』に赴く（画像）。筆者は個人面談の機会が与えられ、ドキュメンタリー映画『新渡戸の夢 ～ 学ぶことは生きる証 ～』（画像）の上演も企画されるようである。

【若き日、浄土宗の開祖 法然(1133-1212)に関する本、弟子の浄土真宗の宗祖 親鸞(1173-1263)の教えの『歎異抄』を熟読したものである。親鸞の『歎異抄』に『人種、性別、年齢、能力、貧富に関係なく、誰もが平等に「人間に生まれて良かった」と言える』とある。

筆者に強い印象を与えた言葉は、今は廃校になった小学校の卒業式で、来賓が語った『ボーイズ・ビー・アンビシャス』（Boys, be ambitious）である。札幌農学校を率いたウィリアム・クラーク(1826-1886)が、その地を去るに臨んで、馬上から学生に向かって叫んだと伝えられている。内村鑑三(1861-1930) & 新渡戸稲造(1862-1933)は、2期生の同窓生である。そして、内村鑑三、新渡戸稲造、南原繁(1889-1974)、矢内原忠雄(1893-1961)の著作の読書遍歴に繋がった。

『柔和で穏やかな心をもって接すれば、相手からも 同じように柔和な心を 引き出すことができる』&『青年とは 大きな希望抱負を有する者を称するので、年齢の多少を問わない。ゆえに希望なき者は、いかに若年であっても、片足を棺桶に踏み込んでいるのと同じようなもので、希望さえあれば、三十になっても。六十になっても、すなわち 青年というべきである』（新渡戸稲造）】を、今回、さりげなく語る予定である。

＜がん哲学外来＞

お茶の水メディカル・カフェ in OCC

～2024年開催予定日～

第27回	1月20日(土)
第28回	2月10日(土)
第29回	3月23日(土)
第30回	4月13日(土)
第31回	5月18日(土)
第32回	6月15日(土)
第33回	7月20日(土)
第34回	8月17日(土)
第35回	9月28日(土)
第36回	10月19日(土)
第37回	11月9日(土)
第38回	12月14日(土)

いずれも13時から開始です。

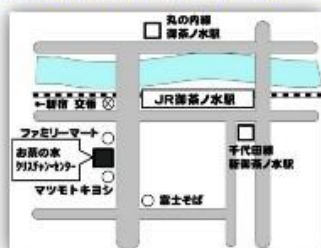


順天堂大学名誉教授
一般社団法人がん哲学外来名誉理事長
新渡戸稲造記念センター長
恵泉女学園理事長
樋野 興夫 先生

樋野興夫先生との面談について

お茶の水メディカル・カフェ in OCCでは
毎回樋野先生が出席されますので、面談が可
能です。ご参加申し込みの際に、面談希望を
お伝えください。

会場: お茶の水クリスチャン・センター



＜参加費無料※必ず事前にお申し込みください＞

お申し込み方法: mail もしくは FAXでお申し込みください。

Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com

Fax: 03-3296-1010

※お申し込み時に必ずお名前と当日に連絡のつく
お電話番号をお知らせください。

※各回とも開催日の3週間前からお申し込みを受け付けております

主催: お茶の水メディカル・カフェ 共催: お茶の水クリスチャン・センター
後援: 一般社団法人がん哲学外来 がん哲学外来市民学会

